

単元名 表やグラフを活用して、自分の考えを伝えよう！

学習材「天気を予想する」「グラフや表を引用して書こう」

第5学年テーマ

事実や根拠を明らかにしながら、自分の考えをもち 伝え合うことができる子

単元目標

- ◎前半部分と後半部分の書かれ方の違いに着目し、筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。
- 筆者の伝えたいこと、論の進め方、図表などのグラフの活用について感想を話し合い、自分の考えを深めることができる。
- 文章の中で語句と語句との関係を理解することができる。
- ◎目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど、書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。
- 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うことができる。

○学習指導要領の目標

C 読むこと

- ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。

B 書くこと

- エ 引用したり、図表をグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

- (オ) 文章の中での語句と語句との関係を理解すること。

単元の評価規準

関心意欲態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・題材、筆者の考え、文章の書かれ方に興味をもって読もうとしている。 ・意見に説得力を持たせる際には、非連続型資料が有効であることに気づき、自分の考えをわかりやすく説明しようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的なことや統計資料から、自分の考えを説明するために必要な材料を見つけて文章を書いている。 ・考え・根拠などを書き分けている。 ・「図1は～」などの表現を用いて、本文との関連を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が事例、理由や根拠を挙げている事実を読み取っている。 ・筆者の根拠や主張を自分なりに評価し、筆者の主張について意見を表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語と語の関係に気をつけることで、文の意味が捉えやすくなることを理解している。 ・文章の構成や段落相互の関係について理解している。 ・意見文の書き方や構成の要素を理解している。

1. 単元について

単元で行う言語活動 非連続型資料を用いて、自分の考えをリーフレットにまとめよう

(1) 教材観

題名 「表やグラフを活用して、自分の考えを伝えよう！」

学習材「天気を予想する」10段落

序論	問い1	① どうして高くなったのでしょうか、的中率は。 ② 科学技術の進歩による観測。 ③ 情報を共有する国際的な協力。 ※グラフ・写真・予想図資料
本論	問い2	④ 百パーセント的中するようになるのでしょうか、天気予報は。 ⑤ 難しい突発的な天気予報。 ⑥ 難しい局地的な天気予報。 ※グラフ資料
	問い3	⑦ 予想する手立てはないのでしょうか、突発的・局地的な天気の変化。 ⑧ 空を見たり風を感じたりする手立て。 ⑨ 局地的な天気の変化を予想することわざ。 ※写真資料
結論	まとめ	⑩ 天気を判断するのは自分。(筆者の考え) (※写真資料)

学習材「グラフや表を引用して書こう」

- ・リーフレットの構成（文章構成－双括型文章）
- ・非連続型資料の引用・解釈
- ・書き出しや接続詞

付けたい力	・ 問いと答えを見つける ・ 筆者の考えをまとめる ・ 自分の考えを伝え、話し合うことができる
学習材の解釈	・ 問いが3つあることの効果 ・ 非連続型資料を引用する効果 ・ 具体的数値を用いる効果
活用させたい力	・ 非連続型資料を用いて、自分の考えを伝える（リーフレット）

(2) 児童観

読書が好きな児童が多く、読んだり話し合ったりすることは好きである。自分の考えや意見をまとめたりすることはできるが、発表することには抵抗感を感じている児童が多い。その理由は、自分の意見の根拠が弱く、自信をもって発表できないためである。

1学期は、事実を読み取り、根拠として事実と感想・意見などと区別してマザーテレサに対する自分の考えをまとめた。その結果、事実と筆者の考えを区別しながら文章を読むようになってきている。

本単元では、根拠を明らかにして自分の考えを持つことができるようにしていきたい。また、国語へ理解力が十分でないため、課題を解決する手がかりとなるような手立てをとっていきたい。そして、読み方や学び方を身につけていくことで自信を持って学習に取り組めるようにしていきたい。

(3) 指導観

〈学年の取り組みの重点〉

児童が進んで、伝え合うには、一人ひとりが課題について「知りたい！伝えたい！」という思い抱くことが大切であると考え。その思いを持つには、自分の考えや思いを持つことが必要である。しかし、思い付きや根拠のない考えでは、自信をもって伝えることは

難しい。そこで、自分の考えを進んで伝えていくためには、しっかりとした根拠をもつことが重要であると考え、5年生のテーマを「事実や根拠を明らかにしながら、自分の考えを持ち、伝え合うことができる子」とした。そして、事実や根拠を明らかにしながら、自分の考えを明確にしていくために、次のことに気をつけて指導していくことが重要であると考えている。

① 単元計画の工夫

「知りたい！伝えたい！」と思える学習過程の工夫

② 学校図書館を活用した読む力の育成

様々な文章や資料を読み取り、活用する力の育成

③ 自ら学んでいくための学び方指導

文章の読み方や考えの導き出し方、表現の方法などの学び方

④ 個別の支援

一人ひとりの学習課題に応じた支援

これらを国語科を中心に指導・支援していく。さらに、学んだことを社会・理科・総合的な学習の時間などに転用を図っていくことにより、学びが繰り返され、「伝え合う」活動の充実に繋がっていくと考え、取り組んでいるところである。

〈本単元の取り組み〉

本単元では、「非連続型資料を用いて、自分の考えをリーフレットにまとめよう」という言語活動を単元を貫いて位置づけることにした。「読むこと×書くこと×学校図書館の活用」の複合型の言語活動である。ここで取り上げるリーフレットでは、双括型の文章の構成を理解することと、非連続型資料を用いて自分の考えを伝えるように書くことの2つの内容を位置づけていく。このことで、「事実と感想、意見などと筆者の考えとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」(C 読むことウ)「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝えるように書くこと」(B 書くことエ)を実現できるようにしていきたいと考えている。そのためには、単元構成の工夫が必要である。本言語活動では、2つの学習材をもとに学習を進め、「知りたい！伝えたい！」という思いを抱けるように、学習過程を大切にしていきたい。

はじめに、学習材「天気を予想する」を用いて、筆者の主張を捉えると共に、説明の仕方の工夫について考えていく。グラフ・写真・図などの非連続型資料を用いることの良さや具体的な数値を用いることの効果について考えることにより、筆者の主張の根拠となっている事実に説得力を持たせていることに気づかせていきたい。

次に「グラフや表を引用して書こう」では、これまでの学びを生かして、実際に、非連続型資料を用いて自分の考えを説明する文をリーフレットにまとめ、交流したいと考えている。

次の学び方のスキルを押さえながら学習を進めていく。

- ・ 課題の設定
- ・ 非連続型資料の読み取り
- ・ 自分の考えの明確化
- ・ 文章の組み立て

これらにより、一人ひとりが自分の考えを伝えたいという思いをもって説明文を書くことができ、交流できるようになると考えている。

本単元におけるめざす児童像にせまるための手だて

(めざす子ども像：自分の考えを適切に表現し、認め合い、楽しく学び合える子ども…伝え合いを充実させ認め合い楽しく学び合える授業にする手立て)

① 単元計画の工夫

- ・ 単元のはじめで、単元のゴールを児童に示す。
- ・ 読みの必要性や学習過程を把握することで、学習意欲を高めていく。
- ・ 内容の理解・筆者の表現方法の工夫・非連続型資料の扱い・リーフレットの作成・交流を指導することで、事実や根拠を明らかにして、自分の考えを伝えられるようにする。

② 参考資料提示の工夫

- ・ 一人ひとりの課題に応じた図書資料・情報ファイル(統計・年鑑)の準備をする。

③ 他教科との関連

- ・ 非連続型資料の読み方・文章の書き方等について、社会科・理科・総合的な学習の時間でも指導をしていく。

- ・非連続型資料を用いて、社会科・理科・総合的な学習の時間の中でも自分の考えを説明する機会を設けていく。

④ 学び方指導

- ・課題の設定
- ・非連続型資料の読み方及び表現の仕方
- ・文章の構成の仕方
- ・読み取ったことや考えたことの情報カードへの記入
- ・自分の考えの明確化
- ・話し合いの方法（ボードミーティング）

学び方スキルを指導していくことで、交流活動が充実するように努める。また、他教科へ広がっていくようにしていく。

⑤ 個別の支援

- ・一人ひとりの学習課題を把握しながら、支援していく。
- ・発問の工夫や教材教具の工夫により、個別の理解が促されるように支援していく。

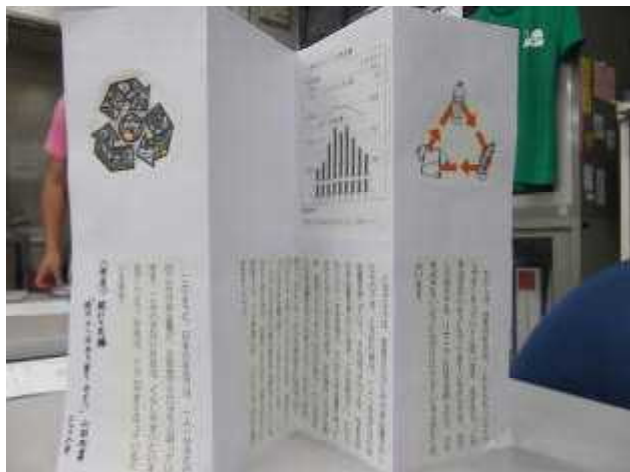
⑥ 日々の活動

- ・読書習慣（量と質）の充実→記録カード・読み聞かせ
- ・ペア・グループでの話し合い活動
- ・話し合いの可視化→ボードミーティング

○ 単元計画【全15時間】

		学習活動	評価規準	手立て
第一次 見通す	1	○語と語の関係について考える。 ・語と語のまとまり、接続のしかたについて考える。	【言】語と語のまとまりや、接続の仕方について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師作成のリーフレット提示 ・ボーン図による課題設定（全→G→個）
	2	○単元に見通しをもつ。 ・非連続型資料を用いた説明文を書くことを見通す。 ・相模原市の昔と今の写真を比較し、その違いから「くらしやすさ」「くらしにくさ」の視点で課題を立てる。	【関】「くらしやすさ」「くらしにくさ」について、自分の考えを整理し、課題をもとうとしている。	
第二次 習得	3	○全文を読み、「天気を予想する」についての筆者の主張を考える。 ・題名から問いをつくる。 ・形式段落にわける。 ・全文を通読して、はじめて知ったこと・驚いたことを交流する。 ・筆者の主張をまとめる。 ・まとめに対する問いを見つける。	【関】単元の学習の見通しをもち、題名から興味関心をもって文章を読もうとしている。 【言】問いと答えの文章の構成を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・題名から 5W1H の視点で課題をたてる。 ・「筆者は、○○を例に挙げて▲▲を伝えようとした」の文例に当てはめて要旨をまとめる。 ・問いと答えの文章構成
	4 5 6	○説明の内容を読み取る。 ・3つの問いに対する答えについてまとめる。また、答えに対する根拠・事例も明らかにする。 ・矢印を使い事柄の関係性をつかんでいく。	【読】3つの問いと答えを見つけ、答えの根拠となる事例を読み取っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボードミーティング（話し合いの可視化）
	7	○説明の工夫を調べる。 ・3つの問いの関連について考える。	【読】3つの問いの関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの問いと答

	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者が表・写真・図・グラフを用いた意図と具体的な数値が用いられることの効果を考える。 	<p>を筆者の意図やその効果がわかる。</p> <p>【読】 表・写真・図・グラフ、数字の使い方について筆者の意図やその効果がわかる。</p>	<p>えの順序入れ替え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つながりの文・言葉に着目 ・ グラフあり・なしの本文の比較 ・ 曖昧な表現と具体的な数値の文章の比較 ・ ボードミーティング（話し合いの可視化）
	9	<p>○ 筆者の伝えたかったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者が伝えたかったことについて要旨をまとめ、交流する。 	<p>【読】 筆者の考えとその根拠となる事実を捉え、筆者が伝えたかったことをまとめている。</p> <p>【読】 筆者が考えを伝えるための文章の工夫についてまとめている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「筆者は○○を例に挙げて▲▲を伝えようとした。そのために■ ■ ■などの文章の書き方を工夫している。」
第三次活用	10	<p>○ 非連続型資料を用いた文章の書き方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グラフからわかったことを情報カードに書き出して、構成について考える。 * 双括型の文章の構成 * グラフや表を説明するときの注意事項 * 書き出しや接続詞の使い方について 	<p>【書】 非連続型資料を使った説明文を書く際の注意することを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーフレットの構造理解 ・ 双括型の文型 ・ グラフの説明 ・ 引用
	11	<p>○ 自分の課題に沿って、非連続型資料を用いた説明文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の課題に対する考えと理由を情報カードに書く。 	<p>【書】 自分の考えに合った資料を選んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報カードの活用 ・ 図書資料・情報ファイル資料
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の課題にあった非連続型資料を用意する。 ・ 非連続型資料から分かる事実を情報カードに書き出していく。 ・ 非連続型資料からわかった事実をもとに、自分の考えを情報カードに書く。 	<p>【書】 非連続型資料を正しく読み取って情報を書き出している。</p> <p>【書】 事実や根拠と自分の考えを明らかにしながら文章構成を考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報カードから自分の考えの導きだし ・ リーフレットの作成（レイアウト）
	13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報カードを並べ変えながら、文章構成を考え、説明文を書き、 	<p>【書】 資料と文章を関連させて説明文を書いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じような課題の児童でグループを編成し、学習を進める。
	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーフレットを仕上げる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援
第四次交流	15	<p>○ グラフや表を活用して自分の考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見を交流し合う。 ・ 友だちの作品を読んで優れている点を見つけることができる。 ・ 非連続型資料を用いることの良さについて考える。 	<p>【関】 非連続型資料を用いた説明文の良さを理解している。</p> <p>【関】 自分の考えが相手に伝わるようにリーフレットを活用して説明しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 違う課題の児童でグループを編成して交流する。 ・ グループごとに推薦されたリーフレットを全体の前で説明する



グラフや表から自分の考えをまとめたリーフレット



グラフや表から考えられることの分類



課題づくり



グラフや表から考えられることの分類